

## お尋ねします

今回は、県内では初めてと言う集落全農家が参加した農事組合法人「道賀」近藤組合長さんをお尋ねしました。圃場整備完成を機に、平成13年8月に集落全農家での生産組合を設立その後、関係機関の指導の下、率先して法人化することにより少しでも地域に貢献できればとの思いから、平成19年1月に法人を設立しました。

現在の経営面積は、42haで水稻が33.1haと大豆が8.9haで全てJAに出荷しているそうです。組合員は15名でその内、理事2名、監事1名と協力員(役員)4名で運営しているそうです。しかし、作業を行う際、土曜、日曜には大勢集まるが平日は人が足りなくて、困っているとのことでした。又、これからの課題として三つ程上げてくれました。ひとつには、後継者対策で現在40代の若い後継者が2名います。さらに後継者対策のためには、新規作物の導入そして加工、販売と6次産業化へと年間を通しての仕事の確保などの検討、ふたつ目には、組織の合併、今組合員の中に専業農家の



方、定年退職された方でアスパラガスの栽培を2.6ha、また新たに1haを新植し成果を上げています。これが法人との結びつき、統合も大きな検討課題だそうです。三つ目に、コストの削減で経営規模の拡大80〜100haに、またV溝直播栽培の面積を増やし、労力を削減し新規作物の導入だそうです。今後、水稻では60kg当り、生産費10,000円以下を目標に邁進しますと力強く話してくれました。

(増子委員)

## 待ってうれしい花いちもんめ

### 地域ブランドを

#### 考えてみますか？

平成18年から商標法の改正により、ブランド名を登録できるようになりました。以前は夕張メロンなど数件しかなかったものが、松坂牛、関アジ等など登録されています。地域名と商標名を組み合わせ登録しやすくなり、類似品の横行を抑えて、特産ブランド保護、競争力向上や地域振興につなげて行く動きがあります。

新潟県もコシヒカリ、ルレクチエ、越後姫がありますが、首都圏に目を向けると「コシヒカリ」を除いては全般的に知名度が低い状況にあり、

「にいがたブランド」を確立していく計画もあります。新発田市には「アスパラ」もあります。

当地区には、葉タバコをやめた畑があり、この地区の気候、土壌に適した作物を栽培し、競争力を高め、地域ブランドを確立し、それによる「耕作放棄地」の活用、そして知的財産として登録……なんてのは先の話だろうが、地域農業を考えるため、まず、何が地域の特産になるか、栽培は可能か、そして地域の広範囲で作付けしてくれるかなど、あわせてブランド登録の可能性の勉強でも始めて行きたいものです。

(坂野井委員)

待たれてうれしい花いちもんめ